



## 2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東  
 コード番号 3674 URL https://aucfan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 濱田 淳二 TEL 03(6809)0951  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	4,647	55.7	791	868.6	784	952.0	502	—
2020年9月期第2四半期	2,983	△11.2	81	△87.2	74	△88.3	6	△98.6

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 △1,623百万円 (ー%) 2020年9月期第2四半期 2,262百万円 (275.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	48.64	45.98
2020年9月期第2四半期	0.64	0.64

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	10,143	6,448	63.5
2020年9月期	13,382	8,115	60.5

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 6,441百万円 2020年9月期 8,102百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	38.4	1,300	58.4	1,250	54.5	800	86.6	77.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 一、 除外 一社 (社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年9月期2Q	10,539,400株	2020年9月期	10,539,400株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	216,990株	2020年9月期	216,933株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年9月期2Q	10,322,437株	2020年9月期2Q	10,252,549株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、近年SDGs(※1)に始まり、世界中で大きくクローズアップされている廃棄ロス問題(※2)に対して正面から向き合い解決すべく「RE-INFRA COMPANY」をIDENTITYとして定義しております。

※1 Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)。2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき目標

※2 日本では年間約22兆円(平成28年度法人企業統計(財務省)などを基に当社試算)の商品が、そして世界では年間100兆円の商品が廃棄されております。

「RE」とは、すでにあるものを捉え直し、より良く組み替え、再構成するという意味を含んでおり、当社グループは「RE」に関する様々な機能を繋げ統合することで、モノとそれに関わるヒトの価値を、再配分・最適配分し、廃棄ロスという深刻な社会問題を解決することに挑んでおり、祖業であるネットオークション・ショッピングの価格比較メディア『aucfan.com(オークファンドットコム)』の運営、BtoB卸モール『NETSEA(ネッシー)』、EC一括運営効率化ツール『タテンポガイド』、寄付型ショッピングサイト『Otameshi(オタメシ)』などを運営することにより、廃棄ロス問題の解決へ向けた取り組み・事業拡大を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,647,524千円(前年同四半期比55.7%増)、営業利益は791,110千円(前年同四半期比868.6%増)、経常利益は784,034千円(前年同四半期比952.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は502,063千円(前年同四半期比7,504.4%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (在庫価値ソリューション事業)

当セグメントは、データを基にAI技術を活用し在庫の価値を可視化し、企業が保有する在庫価値の可視化・最適化等を推進するソリューションを提供する当社グループの基盤の一つとなるセグメントであります。主なサービスとしては当社が保有する流通相場データを活用した『aucfan.com(オークファンドットコム)』、複数のECショップへの同時出品・在庫連動等の一元管理を可能とするEC販売支援サービス『タテンポガイド』があり、主たる収益源は有料課金収入となります。2021年2月には、専門知識がなくても直感的に操作できるRPAツール『オークファンロボ』の提供を新たに開始いたしました。一方、小売業の経営課題を解決する在庫管理AIソリューション『zaicoban(ざいこばん)』は、ターゲットとする大手企業への導入にリードタイムを要し売上見込が遅延していることを受け、当社グループの強みである中小・SMB向けに活用する戦略に変更いたしました。その結果、売上高911,458千円(前年同期比16.2%減)、営業利益177,017千円(前年同期比19.5%減)となりました。

#### (商品流通プラットフォーム事業)

当セグメントは、企業の在庫・滞留商品等の流通を支援しており、複数のマーケットプレイスの運営や流通を加速させる人材育成スクールの運営等を実施しております。主なサービスとしては、BtoB卸モール『NETSEA(ネッシー)』、滞留在庫・返品・型落ち品などの流動化支援を行う『リバリューBtoBモール』及びBtoCの寄付型ショッピングサイト『Otameshi(オタメシ)』、副業・複業として物販ビジネスを行なう事業主を対象とするスクール形式の副業支援サービス『good sellers(グッドセラーズ)』がございます。主たる収益源は、流通手数料収入・商品販売収入及び有料課金収入となります。

『NETSEA』及び『リバリューBtoBモール』を中心として、流通量・利用者の増加が好調に推移しておりますが、さらなる『NETSEA』の流通額最大化を狙い、営業・開発体制の強化及び積極的なプロモーションを実施いたしました。その結果、売上高2,440,637千円(前年同期比25.9%増)、営業利益21,455千円(前年同期比52.8%減)となりました。

#### (インキュベーション事業)

当セグメントは、事業投資及び投資先企業の支援を通じて、当社が中長期にわたり競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。

営業投資有価証券の売却及び、投資先企業へのコンサルティング等を実施しており、第1四半期連結会計期間には前期に引き続き大型の営業投資有価証券の一部売却を行うとともに、当第2四半期連結会計期間においては不透明な経済情勢を踏まえ、一部の営業投資有価証券については保守的に評価損を計上しております。

これらの結果、売上高1,382,046千円(前年同期比4,502.2%増)、営業利益777,998千円(前年同期は営業損失11,167千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、10,143,565千円(前連結会計年度末は13,382,944千円)となりました。

流動資産は、9,018,970千円(前連結会計年度末は12,169,900千円)となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が795,382千円増加、商品が248,009千円増加、その他(流動資産)が281,797千円増加、営業投資有価証券が3,547,137千円減少、受取手形及び売掛金が811,892千円減少した結果であります。

固定資産は1,124,594千円(前連結会計年度末は1,213,044千円)となりました。主な要因といたしましては、ソフトウェア仮勘定が27,645千円増加、ソフトウェアが60,942千円減少、繰延税金資産が19,613千円減少、のれんが17,996千円減少した結果であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、3,694,802千円(前連結会計年度末は5,267,303千円)となりました。

流動負債は、2,509,465千円(前連結会計年度末は2,877,441千円)となりました。主な要因といたしましては、未払金が80,334千円増加、その他(流動負債)が53,226千円増加、買掛金が263,021千円減少、未払法人税等が127,360千円減少、短期借入金が100,002千円減少した結果であります。

固定負債は、1,185,337千円(前連結会計年度末は2,389,861千円)となりました。主な要因といたしましては、繰延税金負債が1,043,635千円減少、長期借入金が159,988千円減少した結果であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、6,448,763千円(前連結会計年度末は8,115,641千円)となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が502,063千円増加、その他有価証券評価差額金が2,126,046千円減少した結果であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より795,382千円増加し、3,500,377千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益711,099千円、減価償却費125,297千円、減損損失107,619千円、売上債権の減少額819,254千円、営業投資有価証券の減少額452,666千円などの計上に対し、棚卸資産の増加額250,075千円、仕入債務の減少額264,299千円、法人税等の支払額379,891千円などにより、営業活動の結果獲得した資金は1,305,524千円(前年同四半期は254,099千円の使用)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

貸付金の回収による収入6,142千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入5,902千円の計上に対し、無形固定資産の取得による支出167,714千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出20,435千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出19,969千円などにより、投資活動の結果使用した資金は197,292千円(前年同四半期は134,779千円の使用)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の返済による支出100,002千円、長期借入金の返済による支出167,798千円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出43,200千円などにより、財務活動の結果使用した資金は312,080千円(前年同四半期は101,730千円の獲得)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の連結業績予想については、2020年11月13日に公表した業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において、新型コロナウイルス感染症による経済への影響を含む、入手可能な事実情報、及び現時点で判明している当社業績への直接的影響に基づき作成しております。今後の状況や市場環境の変化によって当社業績への影響の範囲が大きく変動等した場合、その時点での合理的な算出により業績予想に変更が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,704,994	3,500,377
受取手形及び売掛金	1,529,069	717,176
営業投資有価証券	7,292,436	3,745,298
商品	261,439	509,449
仕掛品	314	—
貯蔵品	536	494
未収入金	203,662	150,919
その他	210,806	492,604
貸倒引当金	△33,359	△97,349
流動資産合計	12,169,900	9,018,970
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	50,358	46,701
工具、器具及び備品(純額)	27,774	23,625
その他(純額)	6,041	5,282
有形固定資産合計	84,173	75,608
無形固定資産		
のれん	276,154	258,157
ソフトウェア	465,271	404,328
ソフトウェア仮勘定	19,740	47,385
その他	1,810	1,660
無形固定資産合計	762,976	711,531
投資その他の資産		
長期貸付金	44,175	39,032
繰延税金資産	163,619	144,005
その他	158,099	154,416
投資その他の資産合計	365,894	337,454
固定資産合計	1,213,044	1,124,594
資産合計	13,382,944	10,143,565
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	404,799	141,778
短期借入金	1,133,332	1,033,330
1年内返済予定の長期借入金	337,108	319,976
未払法人税等	396,748	269,388
未払金	405,191	485,526
ポイント引当金	1,065	7,042
その他	199,196	252,423
流動負債合計	2,877,441	2,509,465
固定負債		
長期借入金	698,409	538,421
繰延税金負債	1,685,454	641,819
その他	5,997	5,096
固定負債合計	2,389,861	1,185,337
負債合計	5,267,303	3,694,802

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	884,082	884,082
資本剰余金	854,922	818,258
利益剰余金	2,156,591	2,658,655
自己株式	△203,171	△203,380
株主資本合計	3,692,425	4,157,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,410,224	2,284,177
その他の包括利益累計額合計	4,410,224	2,284,177
新株予約権	6,968	6,968
非支配株主持分	6,023	—
純資産合計	8,115,641	6,448,763
負債純資産合計	13,382,944	10,143,565

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,983,966	4,647,524
売上原価	1,779,996	2,482,160
売上総利益	1,203,970	2,165,364
販売費及び一般管理費	1,122,297	1,374,254
営業利益	81,672	791,110
営業外収益		
受取利息	474	404
為替差益	—	778
助成金収入	332	570
その他	3,214	3,584
営業外収益合計	4,021	5,337
営業外費用		
支払利息	3,703	5,201
控除対象外消費税等	309	7,086
その他	7,155	125
営業外費用合計	11,168	12,413
経常利益	74,525	784,034
特別利益		
子会社株式売却益	—	34,685
特別利益合計	—	34,685
特別損失		
減損損失	—	107,619
賃貸借契約解約損	14,699	—
その他	0	0
特別損失合計	14,699	107,619
税金等調整前四半期純利益	59,825	711,099
法人税、住民税及び事業税	2,784	294,120
法人税等調整額	48,678	△85,597
法人税等合計	51,462	208,522
四半期純利益	8,363	502,576
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,602	502,063
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,760	513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,254,161	△2,126,046
その他の包括利益合計	2,254,161	△2,126,046
四半期包括利益	2,262,524	△1,623,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,260,763	△1,623,983
非支配株主に係る四半期包括利益	1,760	513



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	59,825	711,099
減価償却費	115,528	125,297
のれん償却額	57,567	59,650
減損損失	—	107,619
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25,299	63,989
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,641	5,976
受取利息及び受取配当金	△474	△404
支払利息	3,703	5,201
子会社株式売却損益(△は益)	—	△34,685
賃貸借契約解約損	14,699	—
売上債権の増減額(△は増加)	256,743	819,254
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△232,781	452,666
たな卸資産の増減額(△は増加)	△170,990	△250,075
仕入債務の増減額(△は減少)	△101,180	△264,299
未払金の増減額(△は減少)	△73,539	64,370
その他	△47,135	△175,542
小計	△145,975	1,690,119
利息及び配当金の受取額	474	402
利息の支払額	△3,533	△5,105
賃貸借契約解約による支払額	△14,699	—
法人税等の支払額	△90,365	△379,891
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△254,099</b>	<b>1,305,524</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,873	△818
無形固定資産の取得による支出	△144,744	△167,714
差入保証金の回収による収入	13,893	200
差入保証金の差入による支出	△100	△600
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	5,902
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△20,435
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△19,969
貸付金の回収による収入	5,102	6,142
その他	△3,057	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△134,779</b>	<b>△197,292</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,200,000	—
短期借入金の返済による支出	△800,000	△100,002
長期借入金の返済による支出	△231,528	△167,798
社債の償還による支出	△62,500	—
自己株式の取得による支出	—	△208
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△43,200
リース債務の返済による支出	△1,825	△871
その他	△2,416	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>101,730</b>	<b>△312,080</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	81	△768
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△287,066	795,382
現金及び現金同等物の期首残高	1,354,496	2,704,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,067,430	3,500,377

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,019,309	1,934,627	30,030	2,983,966	—	2,983,966
セグメント間の内部 売上高又は振替高	68,838	3,394	—	72,233	△72,233	—
計	1,088,148	1,938,021	30,030	3,056,199	△72,233	2,983,966
セグメント利益又は 損失(△)	220,020	45,413	△11,167	254,266	△172,594	81,672

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△172,594千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	849,883	2,417,024	1,380,616	4,647,524	—	4,647,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,574	23,613	1,430	86,618	△86,618	—
計	911,458	2,440,637	1,382,046	4,734,143	△86,618	4,647,524
セグメント利益	177,017	21,455	777,998	976,471	△185,361	791,110

(注) 1. セグメント利益の調整額△185,361千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「在庫価値ソリューション」セグメントにおいて、ソフトウェア等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては107,619千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、「インキュベーション」セグメントにおいて、株式会社承知しましたの全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は19,890千円であります。

当第2四半期連結会計期間より、「商品流通プラットフォーム」セグメントにおいて、株式会社オークファンパートナーズの全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は21,763千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるため、各報告セグメントの費用の配賦方法を変更しております。

当該変更に伴い、従来の方法に比べて、「インキュベーション」のセグメント利益が14,259千円減少し、「調整額」のセグメント利益が14,259千円増加しております。